

目 次

凡 例
推薦の辞
はじめに

序 章	開発の新たな理解に向けて	5
	春のアル・カタバからの教訓 (5) / 学びと社会 (7) / 本書の構成 (9) / エビデンス (9) / 社会貢献を促進する (10)	
第 1 章	国際開発	12
	イゼル：ユカタンにおける植民地主義の残滓 (12) / 植民地主義と国際開発の草創期 (13) / プレトン・ウッズ会議と経済開発の起源 (15) / 文化と貧困 (18) / 開発の社会科学 (22) / 国際開発がたどる道 (32)	
第 2 章	人間開発——人の一生涯を考える	42
	サンガイ：ブータンでの暮らし (42) / 人間発達を理解する (43) / 人間開発 (国際開発の文脈における人間発達) (52) / 国連開発目標 (56) / 人間開発に関する広範な視野 (62)	
第 3 章	開発としての学び	67
	ナイマ：モロッコのクッターブ (学校) とスーク (市場) (67) / 学びとは何か? (68) / 学びの文脈と実践 (71) / 学びを捉える枠組 (72) / 学習曲線：時間・応答的環境・機会 (76) / 教育と学び (78) / 言語と学び (81) / ジェンダーと学び (86) / 教育の危機とは学びの危機である (88)	

第4章 学びの測定 97

テボホとムボ：リンボポにおける学びの測定 (97) / 研究における信用性 (99) / 研究計画 (104) / 学習評価 (107) / 標本の抽出 (114) / 比較可能性 (118) / 経済ピラミッドの底辺 (119) / エビデンスを集める：三つの原則 (124) / 説明責任 (126) / 実践科学 (127) / 学びのための測定 (128)

第5章 学びの公平性——新しい開発課題 137

バランドゥール：北インドの村における不平等 (137) / 学びの世界共通の尺度を求めて (138) / 格差を縮める (140) / 底上げを図る (146) / 学びの公平性という課題に向けて (149) / 開発としての学び (152)

終章 今後の課題 156

アジアトウが手に入れた2度目のチャンス (156) / 地理は（必ずしも）運命ではない (157) / 今後の課題 (158)

参考文献

訳者解説